

富士山の火山活動解説資料（平成 26 年 2 月）

気 象 庁 地 震 火 山 部
火山監視・情報センター

2011 年 3 月 15 日に静岡県東部（富士山の南部付近）で発生したマグニチュード 6.4 の地震以降、地震活動が活発な状況となっていました。その後、地震活動は低下してきています。その他の観測データでも浅部の異常を示すものはありません。火山活動に特段の変化はなく、噴火の兆候は認められません。

平成 19 年 12 月 1 日に噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

○活動概況

・噴気など表面現象の状況（図 1）

萩原（富士山山頂の東南東約 18km）に設置してある遠望カメラによる観測では、山頂部に噴気は認められませんでした。

・地震や微動の発生状況（図 2、図 3）

2011 年 3 月 15 日に静岡県東部（富士山の南部付近）で発生したマグニチュード 6.4 の地震以降、その震源から山頂直下付近にかけて地震が増加しました。その後、地震活動は低下してきています。

深さ 15km 付近を震源とする深部低周波地震は少ない状況でした。

火山性微動や浅部の低周波地震は観測されませんでした。

・地殻変動の状況（図 4）

GNSS 連続観測では、火山活動によるとみられる変動は認められませんでした。



図 1 富士山 山頂部の状況
（2 月 25 日 萩原遠望カメラによる）

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ（<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 26 年 3 月分）は平成 26 年 4 月 8 日に発表する予定です。

この資料は気象庁のほか、国土地理院、東京大学、独立行政法人防災科学技術研究所、山梨県及び神奈川県温泉地学研究所のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50mメッシュ（標高）』を使用しています（承認番号：平 23 情使、第 467 号）。

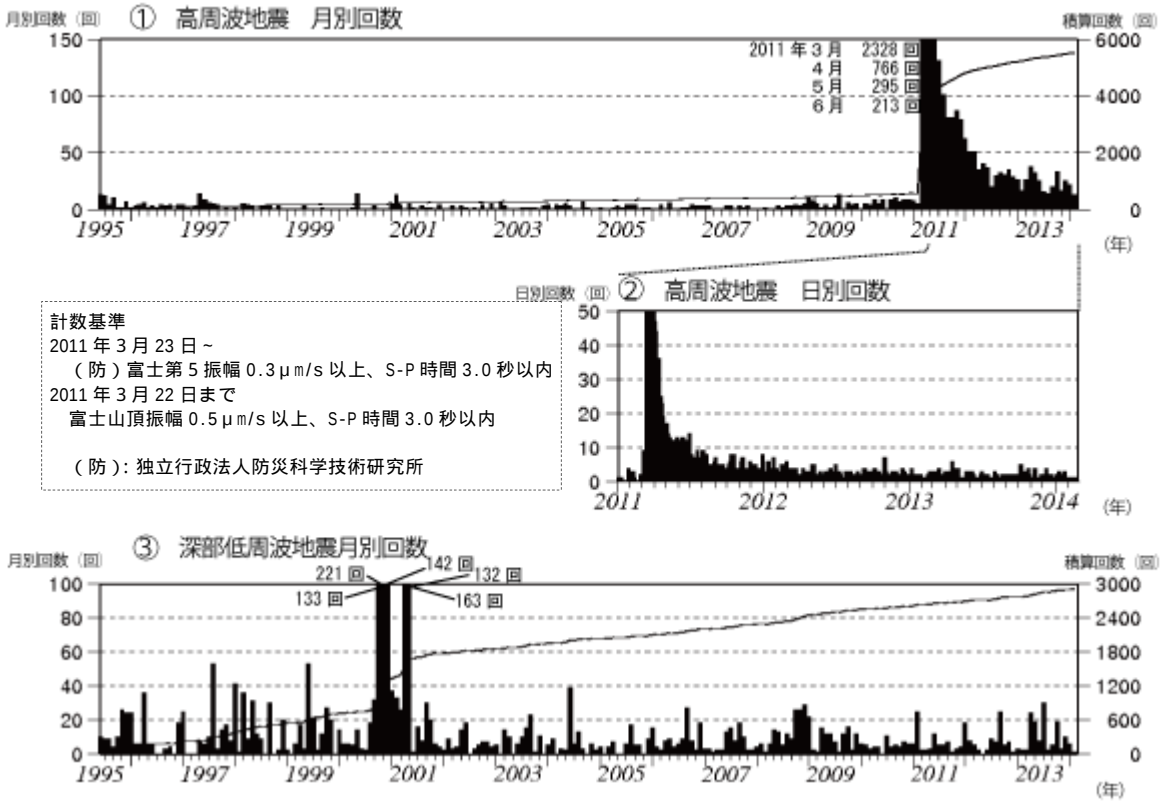


図2 富士山 月別及び日別地震回数(1995年6月1日~2014年2月28日)

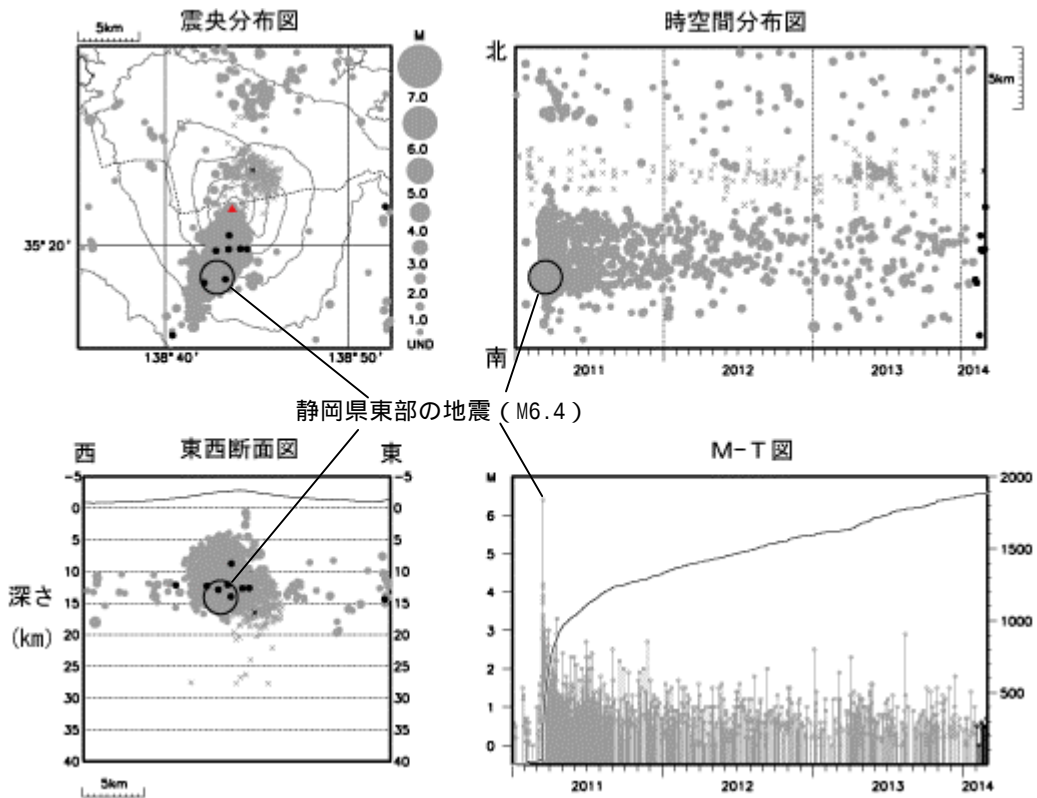


図3 富士山 広域地震観測網による山体・周辺の地震活動（2011年1月1日～2014年2月28日）

●：2011年1月1日～2014年1月31日 ●：2014年2月1日～2月28日
×は深部低周波地震を表します。M（マグニチュード）は地震の規模を表します。
図中の震源要素は一部暫定値が含まれており、後日変更することがあります。
M - T図は震央分布図の四角に囲われた範囲内の地震をカウントしています。

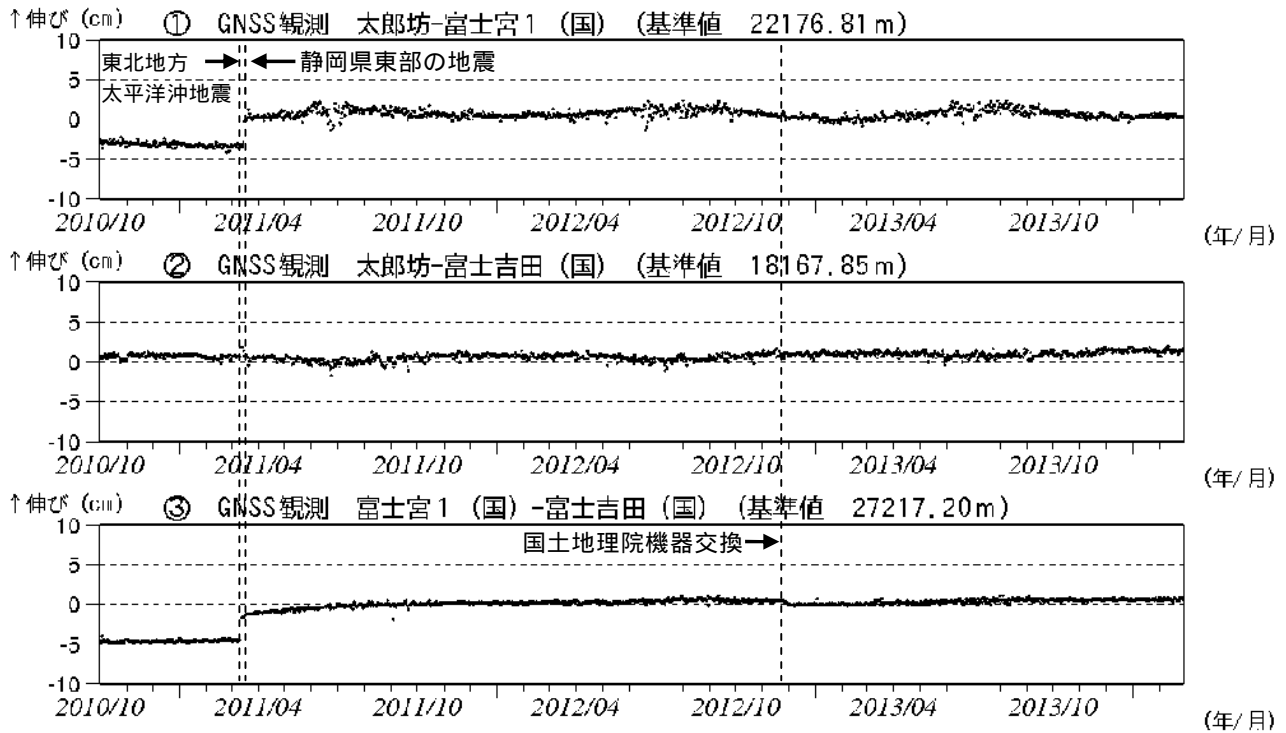


図 4 富士山 GNSS 連続観測による基線長変化（2010 年 10 月 1 日～2014 年 2 月 28 日）
（国）：国土地理院

2011 年 3 月 11 日に発生した東北地方太平洋沖地震、及び 2011 年 3 月 15 日に発生した静岡県東部の地震の影響により、データに飛びがみられます。

は図 5 の GNSS 基線 ～ に対応しています。グラフの空白部分は欠測を示します。

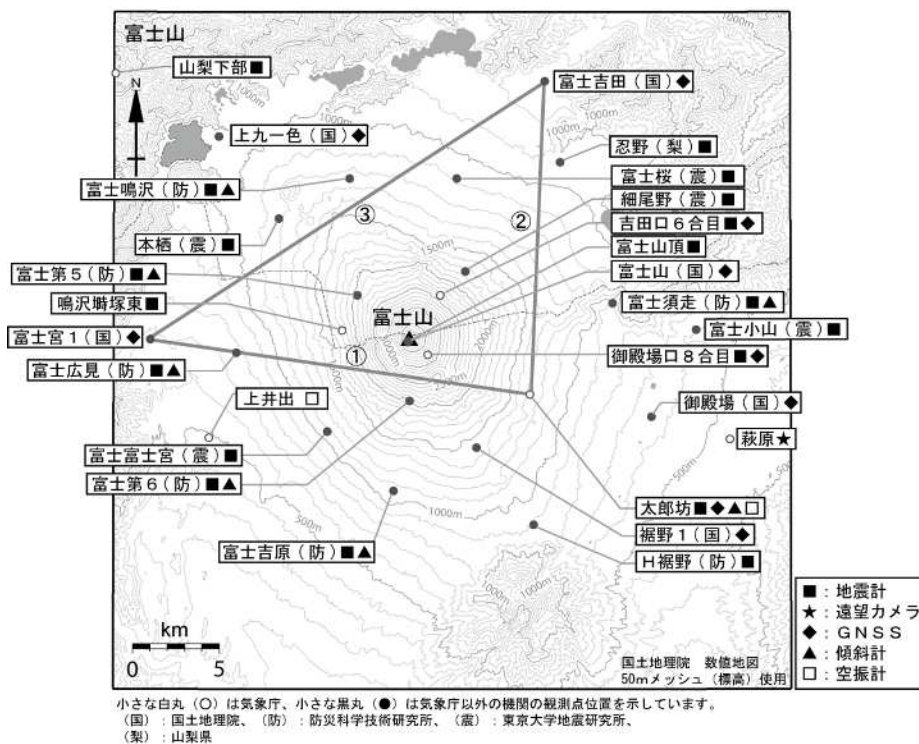


図 5 富士山 観測点配置図

GNSS 基線 ～ は図 4 の ～ に対応しています。